



ENEOS

2023年度 定期点検工事の概要

2023年4月21日(金)

目次

1. 点検工事の概要
2. 工事安全面の対応
3. 渋滞緩和対策への取組み
4. 交通安全・マナーの取組み
5. フレアースタックの炎について
6. 地域環境パトロールおよび広報
7. コロナウィルス感染拡大防止対策
8. 今年度の地域交流関連の予定(ご参考)

1. 2023年度 定期点検工事の概要

(1) 全装置群の大規模点検・補修工事(4年に一度)

- ① 集中合理化装置群
- ② 重油直接脱硫装置群
- ③ 残油流動接触分解装置群
- ④ 連続触媒再生式接触改質装置群
- ⑤ 用役装置群

(2) 主な工事項目

- 触媒交換工事
- 機器の内部清掃、定期点検、補修

(3) 点検工事期間(装置停止～点検～装置スタート)

- 5月上旬～8月中旬 [予定]

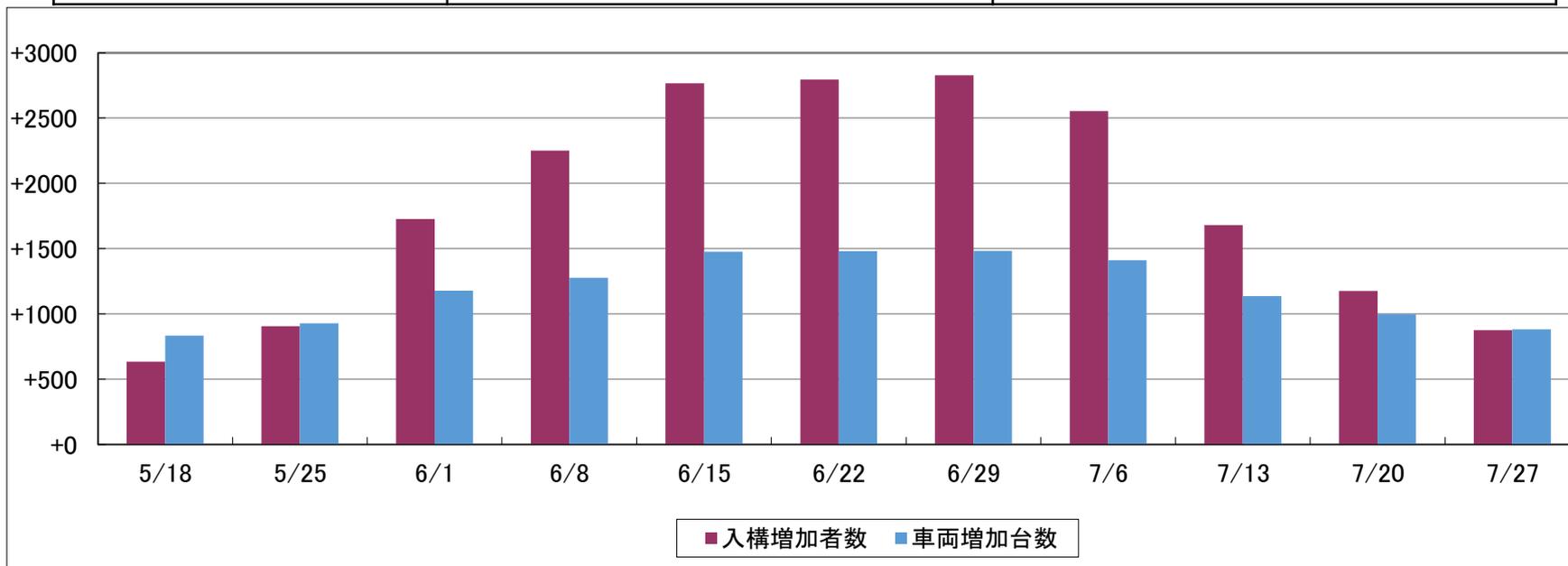
5月25日(土)～8月12日(月)

(ご参考)4年前 2019年度実績

(4) 2023度 定期点検工事の規模

■入構者数、入構工事車両数見込み(工事による増加分)

通常時 (約650人/日) (約650台/日)	主要工事期間平均 (6/5～7/9)	ピーク時 (6/26～6/30)
入構増加者数	+2,500 人/日	+ 2,800 人/日
車両増加台数	+1,250 台/日	+ 1,400 台/日



(5) 2023年度 定期点検工事の規模

■ 入構者数、入構工事車両数の推移(工事による増加分)

通常時 (約650人/日) (約650台/日)	主要工事期間平均 (入構者数/車両台数) 1日あたり	ピーク時 (入構者数/車両台数) 1日あたり
過去最大規模となる見込み		2019年以来の(大型)規模
2023年度(大)	+2,500人 / +1,250台	+2,800人 / +1,400台
2022年度(小)	+320人 / +320台	+430人 / +340台
2021年度(中)	+940人 / +770台	+1,200人 / +860台
2020年度(小)	+310人 / +260台	+420人 / +300台
2019年度(大)	+1,700人 / +1,000台	+2,460人 / +1,450台

2023年度 定期点検実施場所

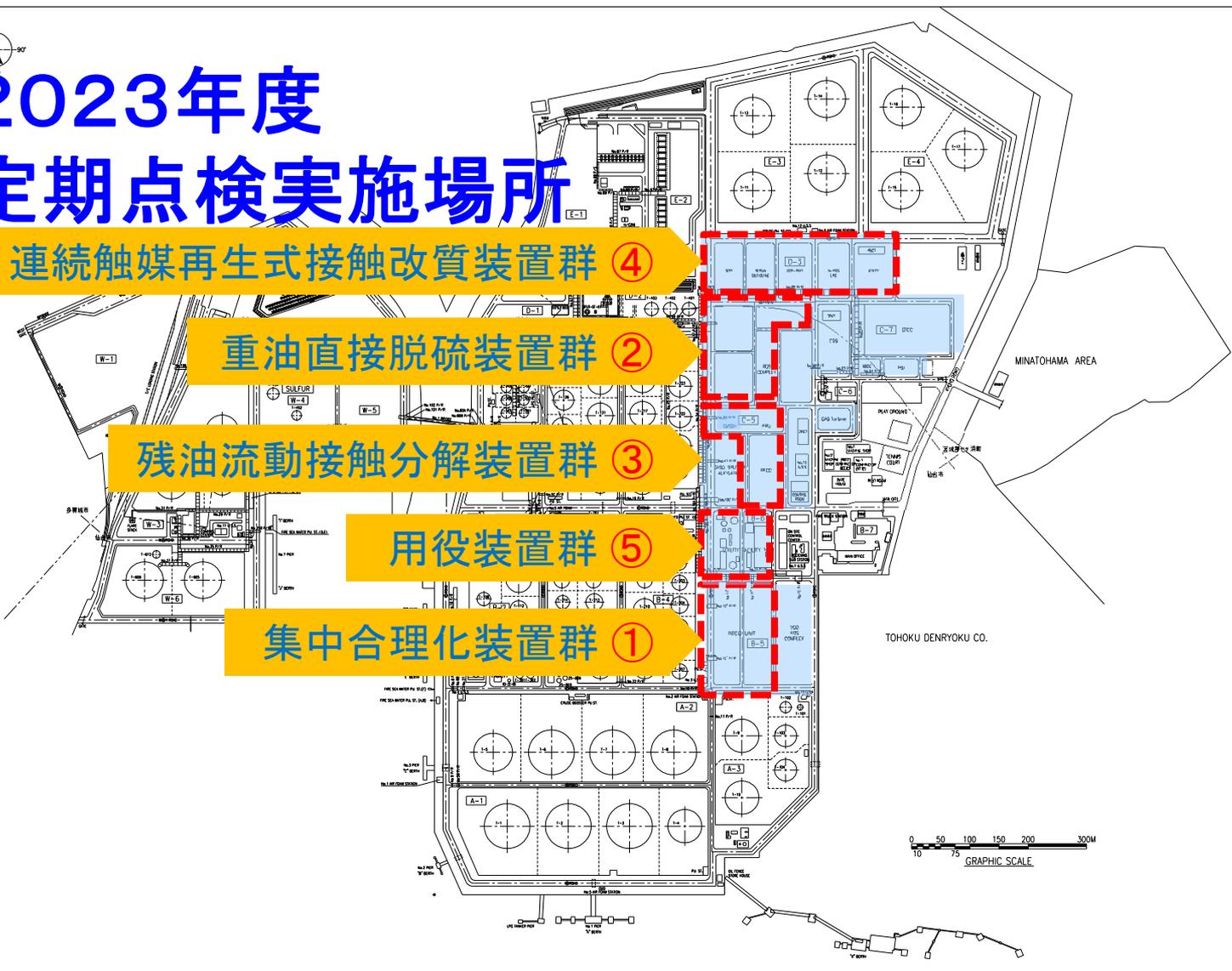
連続触媒再生式接触改質装置群 ④

重油直接脱硫装置群 ②

残油流動接触分解装置群 ③

用役装置群 ⑤

集中合理化装置群 ①



2023年度 定期点検 実施対象装置

①集中合理化装置群



②重油直接脱硫装置群



2023年度 定期点検 実施対象装置

③残油流動接触分解装置群



④連続触媒再生式
接触改質装置群



2023年度 定期点検 実施対象装置

⑤用役装置群



2. 工事安全面の対応

無事故で完工するために、以下の対策を実施します。

■ 教育

全工事関係者へ入構教育等を通して、ENEOSの安全理念(安全とコンプライアンスが最優先)や構内ルールを周知します。

■ 体制

「災害防止協議会」を設置し、協力会社と一体となった安全管理体制を構築します。

■ 日々の取り組み(例)

毎日、朝礼と各種ミーティングを行い、工事関係者間で各種情報を共有し、安全意識を醸成します。

(1) (事例紹介) 安全意識向上教育

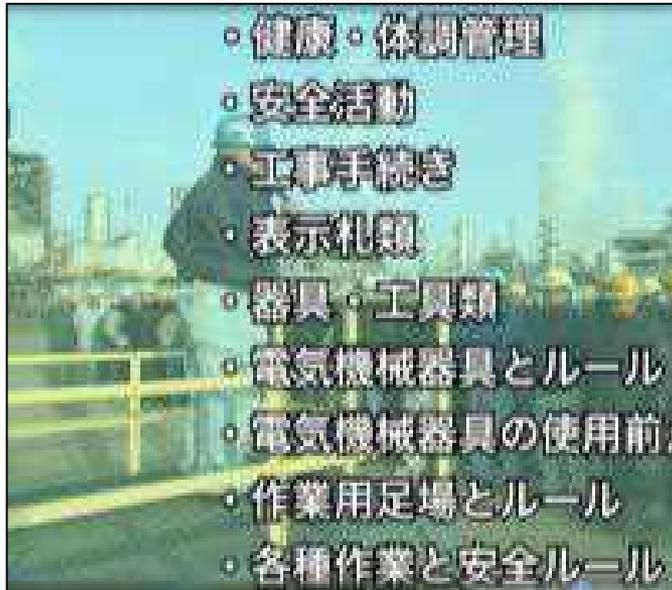
所長・副所長が講師となり、すべての入構作業者へ「安全意識向上教育」を実施し、「安全とコンプライアンス(法令遵守)が最優先」という“ENEOS安全理念”を周知徹底します。



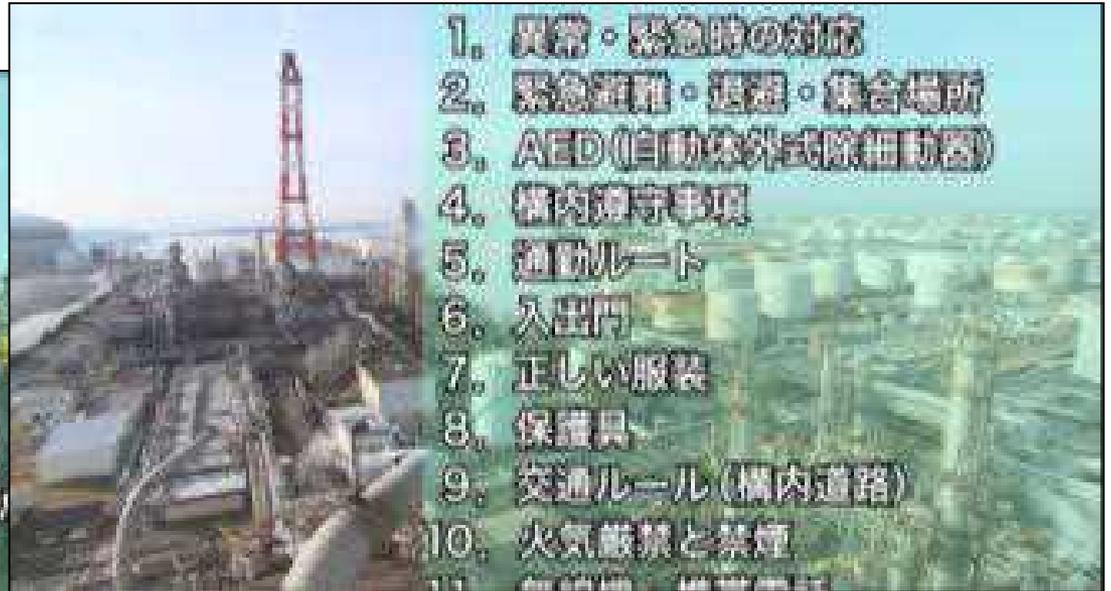
(2) (事例紹介) 安全教育ビデオによる、入構者教育

すべての入構作業者に、工事安全に関するビデオ教育を実施して、構内ルールや安全作業のための心構えなどを周知徹底します。

【工事編】



【一般編】



(3) (事例紹介) 入構者ルールブックの遵守徹底

すべての入構者は、ルールブックを常に携行し、朝礼などで内容を確認するなど、遵守を徹底します。



はじめに

仙台製油所では、「安全とコンプライアンス」を最優先に操業を行うとともに、環境保全にも積極的に取り組んでいます。この入構者ルールブックは「すべてのケガは防ぐことができる」「誰もケガをしない、させない」を達成するための、安全に係る大切なルールを記載したものです。

当所は、油やガスを大規模な設備で、大量に取り扱っており、その構内での工事・作業には様々な危険が存在します。このような中で安全に工事・作業を行うための第一歩が構内ルールを守ることです。

すべての作業・工事において安全とコンプライアンスを最優先にしてください。

災害を防ぐには、自分だけでなく、構内で作業する仲間もこのルールを守る必要があります。仲間に対する思いやりを持ち、仲間とお互いに注意し合う「相互啓発」の姿勢を持って、ゼロ災害を達成しましょう。

毎日健全に入構してもらい、決められたルールをきちんと守り、入構したときのままで、大切な家族が待つ家路に着きましょう！ ご安全に！

仙台製油所「命を守る基本安全ルール」

■宣言文
私は「命を守る基本安全ルール」を違反すると重大災害や命に直結する危険が極めて高いことを理解し、必ず守ります。
加えて、「命を守る基本安全ルール」の違反があれば即作業を止め、確実に上司に報告します。

命を守る基本安全ルール

- 1. 工事・作業(入槽や操作等を含む)の前には各種許可を必ず受ける
- 2. 機器引き渡しはLOTO(※1)管理を確実に実施する
- 3. 入構時はガス検知器での測定・記録、札の掲示を確実に実施する
- 4. 高所(※2)ではフルハーネス型安全帯を装着しフックを必ず掛ける
- 5. 有毒ガス等吸引の可能性があれば呼吸用保護具を必ず使う
- 6. 不安全行動・不安全状態への注意・指導には必ず従う

違反者は、仙台製油所および元請の協議により以下のいずれかの対応の決定に従い、異議は申し立てません。

- (1) 再教育と反省文の提出 (ルール初違反、(2)、(3)以外)
- (2) 一定期間の入構禁止 (休業・装置停止の可能性)
- (3) 今後の入構禁止 (死亡・重大トラブルの可能性)

※社員の場合は就業規則第11章「懲戒」(第50～53条)にて処分を検討する

宣言日: _____ 年 ____ 月 ____ 日
会社名: _____ (元請会社名: _____)
役 職: 責任者・監督・機心・安全選任・協力会社社員・仙台製油所社員・他 (_____)
署 名: _____

目 次

はじめに	P2
「基本安全ルール」遵守の宣言書	P3
特定要求事項	P4
安全は身だしなみと保護具から	P5
体調チェックシート	P6
けが人・急病発生時には!!	P7
1. 異常・緊急時の対応	P9～10
2. 緊急避難・退避・集合場所	P11～15
3. AED(自動体外式除細動器)	P16、P18～19
4. 構内遵守事項	P16～17
5. 通勤ルート	P20～25
6. 入出門	P26～27
7. 正しい服装	P28
8. 保護具	P29～45
9. 交通ルール(構内道路)	P46～48
10. 火気厳禁と禁煙	P49
11. 無線機・携帯電話	P50
12. 廃棄物	P51
13. 消火器の使い方と点検	P51

3. 渋滞緩和対策への取組み

工事期間中は、特に朝の時間帯において、出勤車両が集中するため、以下の渋滞緩和対策に取り組めます。

(1) 渋滞改善対策

対策：①工事用の大型車両の入構を西門へシフト

②通勤車両のルートが西門へシフト(仙台・多賀城、塩釜(新規追加))

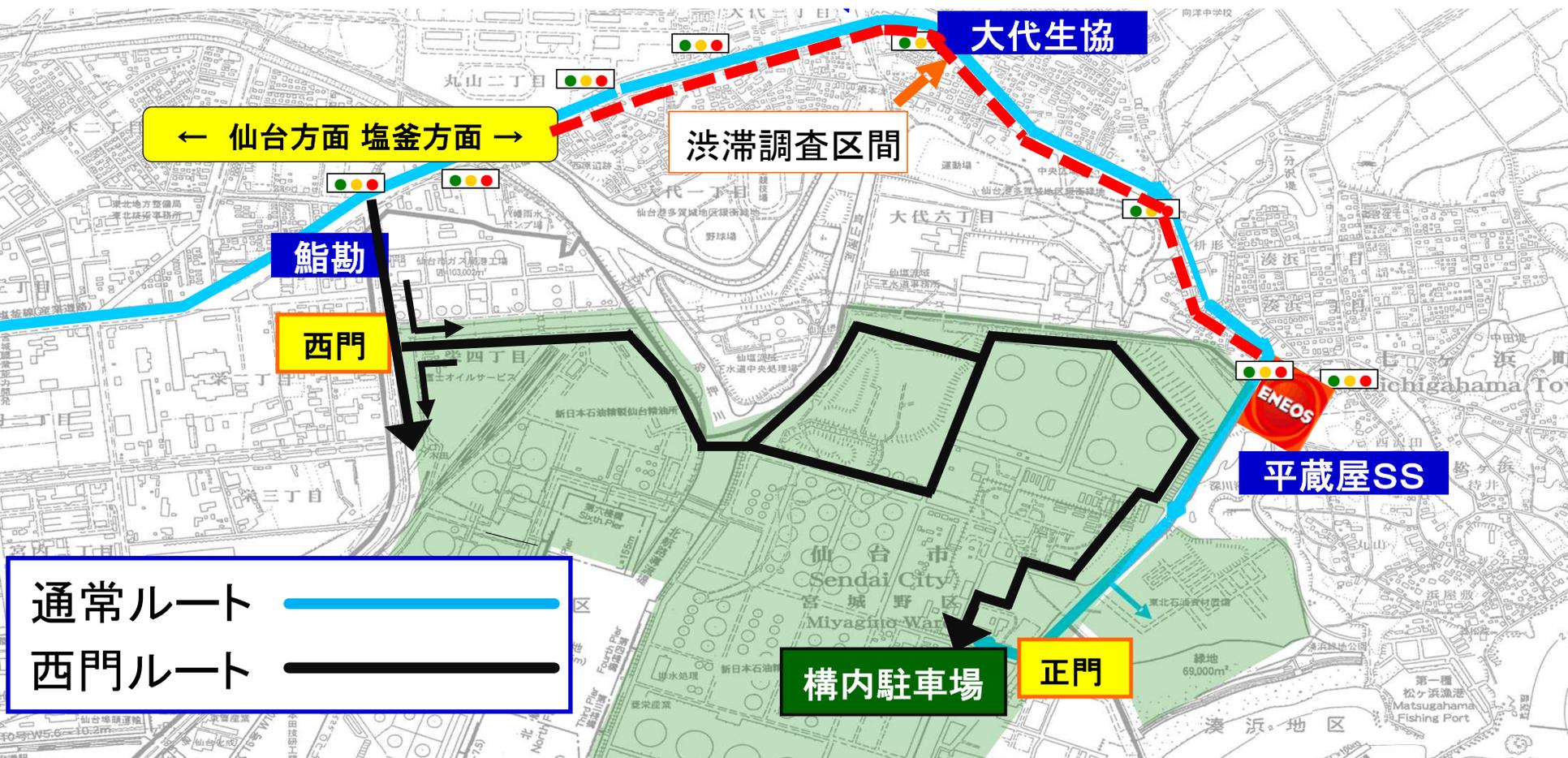
(2) 渋滞状況調査

調査期間：5月中旬～7月中旬

内容：渋滞監視と抑制のため、所要時間(自動車)を毎日調査(調査区間は次ページ)

→調査の結果、渋滞を確認した場合、原因を調査して必要に応じて更なる対策を検討します。

交通安全、渋滞対策(通勤車両・工事関係車両の入出構ルート)



【西門の最大限活用】

仙台方面および塩釜方面(新規追加)からの通勤者は、入出構に西門を使用し、「産業道路 念仏橋～県道58号～平蔵屋七ヶ浜SS」の渋滞緩和に努めます。

4. 交通安全・マナーの取組み

工事期間中は車両が多くなることから、以下の取組みを実施し、通行禁止ルートへの遵守徹底および交通安全・マナーの徹底を指導いたします。

(1) 交通安全立哨

製油所近隣4箇所にて通行禁止ルートの管理を徹底します。

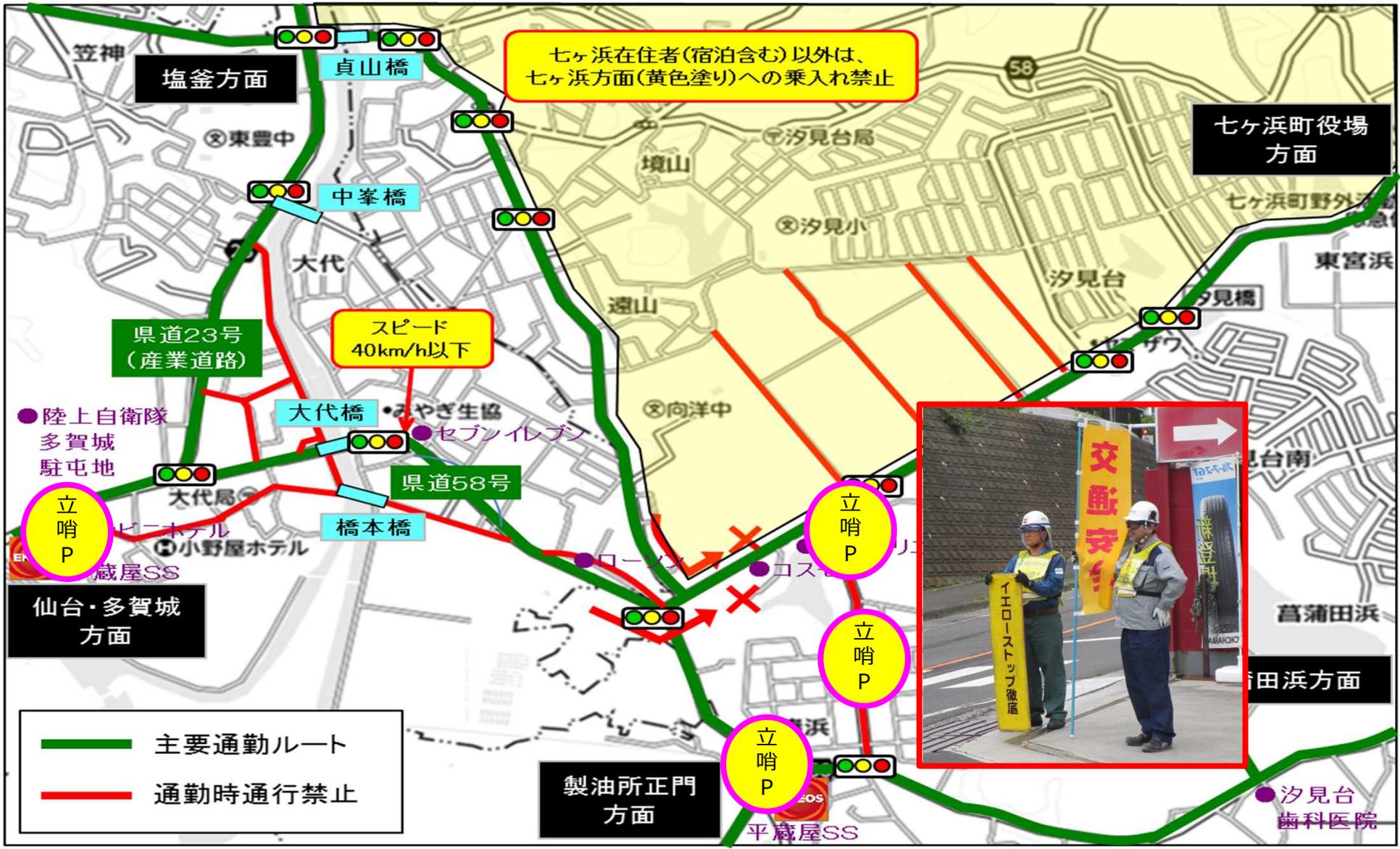
(日程: 6月26日(月)～6月30日(金))

(2) 車両シールの貼付

全ての通勤車両および工事車両にシールを貼付し、意識の向上を図り、マナーの遵守を徹底させます。



(ご参考) 決められたルート以外の通行禁止



5. フレアースタックの炎

- 装置の運転停止・開始の際に、一時的にフレアースタックからの火炎が増大いたします。
- 火炎が増大する時期は、概ね次のとおりです。
(下記期間において、断続的に発生します)

運転停止時：5月19日(金)～6月11日(日)

運転開始時：7月20日(木)～8月7日(月)

火炎が大きくなるのは日中のみとなるように、できるだけ工程を調整いたします。

- 事前に広報誌「うみねこ」や仙台製油所HPのほか、多賀城市テレビ回覧板(データ放送)、等でもお知らせいたします。



ご理解の程よろしくお願いいたします。

(ご紹介) 仙台製油所ホームページのトップ画面

仙台製油所

東北唯一の製油所。石油製品の他、石油化学製品、電力の供給拠点

仙台製油所は、地域経済発展の一環としての期待を担い、1971年7月に操業を開始しました。現在、東北唯一の製油所として、高品質の各種石油製品の製造を通じ、地域のエネルギー安定供給の中核的役割を果たしています。

2011年3月に発生した東日本大震災により敷地が全面冠水し、操業の一時停止を余儀なくされましたが、復旧に努め、翌2012年3月、生産再開を宣言し、現在に至っております。



お知らせ > 一覧へ

2023年4月6日 [ISO14001の認証取得、ISO9001の認証取得を更新しました。](#)

2023年3月13日 [仙台製油所紹介動画を更新しました。](#)

(ご紹介) 多賀城市テレビ回覧版(データ放送)

かんたん **2** ステップで確認!

1 テレビで5チャンネルをつける

東日本放送(khb)が表示されていることを確認してください。
(他の放送局では確認できません)

2 リモコンのdボタンを押す

メニューに「多賀城市のテレビ回覧版」が表示されます。
市からの最新のお知らせなどが確認できます。



このボタンを押してください。



かんたん **2** ステップで確認!

1 テレビで5チャンネルをつける

東日本放送(khb)が表示されていることを確認してください。
(他の放送局では確認できません)

2 リモコンのdボタンを押す

メニューに「多賀城市のテレビ回覧版」が表示されます。
市からの最新のお知らせなどが確認できます。

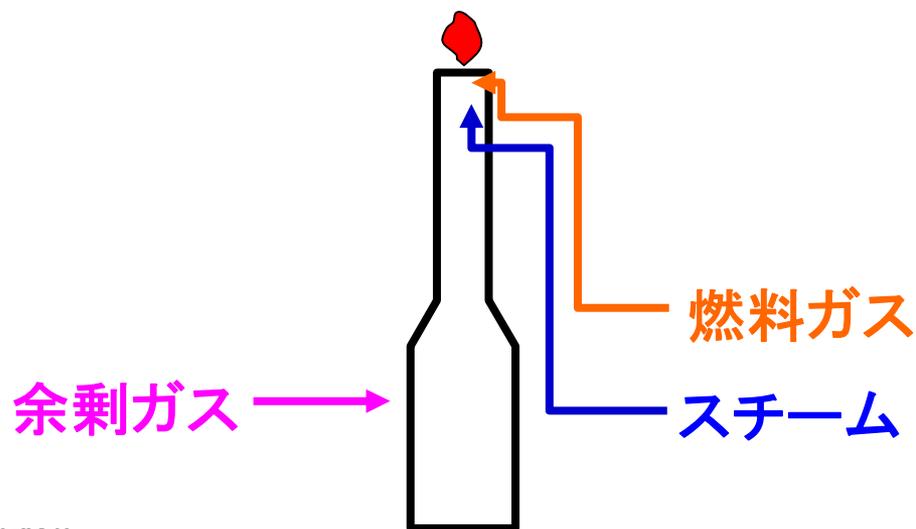


(1) フレアースタックの環境対策

<フレアースタック>

余剰ガス*を安全に燃焼および排出するための安全装置。

- *) 余剰ガスは、主に以下の理由により、多く発生してしまいます。
- ・複数の装置を順次停止または運転開始する際、稼働している装置から発生するガスを他の装置等で利用しきれないため。
 - ・装置の運転停止時に、装置内のガス(圧力)を逃がすため。



6. 地域環境対策への取組み

(1) 地域環境パトロール

期間：5月11日(木)～8月13日(日)
午後1:00～午後4:30の間
(所要時間 約1時間)

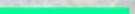
内容：臭気・騒音等の異常が無いか、装置の運転停止、
運転再開期間を中心に、構内外において、計20回程度
のパトロールを実施します。



(2) 地域広報

内容：フレアースタックの炎が特に大きくなることが予想される
日程において、事前に広報車による広報を実施します。

地域環境パトロールと騒音測定箇所

環境パトロール : 
騒音測定箇所 : 



地域環境パトロール

装置運転停止・開始日などにおいて実施(点検期間中、20回程度)。

製油所敷地境界付近および近隣地域を巡回し、臭気や騒音(騒音レベルdBも測定)、フレアースタックの炎の状況などを確認します。

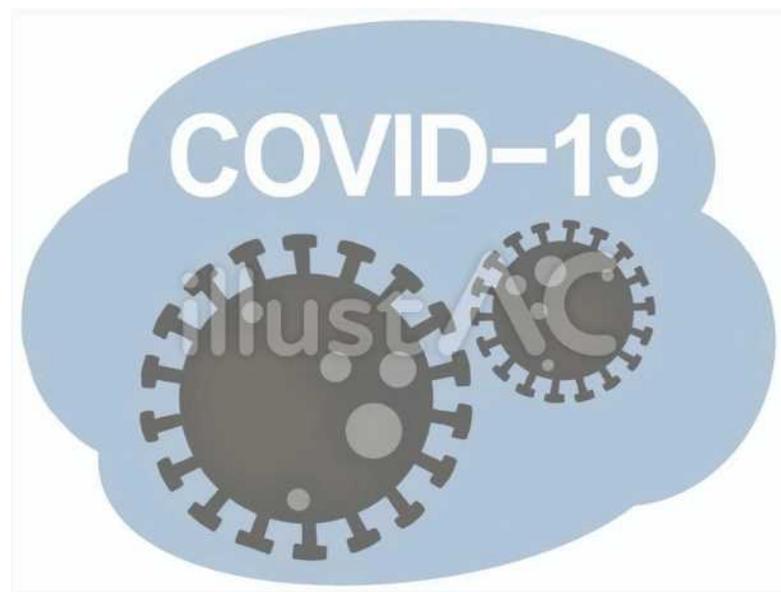


地域広報
(事前広報)

フレアースタックの炎が特に大きくなる
ことが予想される日程において、事前に
広報車による広報を実施します。

7. コロナウィルス感染拡大防止対策

5月8日より、新型コロナウイルスは感染症法上、第五類となり、季節性インフルエンザと同様の分類となりますが、構内で感染が拡大することがないように必要な対策を継続いたします。



8. 今年度の地域交流関連の予定(ご参考)

(1) 所員によるボランティア清掃活動(仙台クリーンENEOS)

- ・ 昼休み時間帯を利用して、製油所周辺地域の清掃活動を年3回実施。

(2) グラウンド・ゴルフ大会開催

- ・ 大代・桜木地区 (6月1日)
- ・ 七ヶ浜町 (10月頃)



(3) 住民見学会 (9月開催予定) 計4日間実施予定

(4) ENEOS CUP多賀城ロータリークラブ旗 争奪少年野球大会(9月開催予定)



(5) 地域主催行事ボランティア

運営ボランティア活動への参加、海岸清掃

- ・ 七ヶ浜国際トライアスロン大会(7月2日)
- ・ 菖蒲田海水浴場1000人ビーチクリーン
(7月9日)



終わり



仙台製油所